



会長
森川 伸治

土壇場の柔整業界にミラクル弾を放つ 「骨神様」を目指して

新年明けましておめでとうございます。

国内におけるワクチン接種も4回目から5回目に進み、本邦で開発を進めてきた抗SARS-CoV-2剤「エンシトレルビル（ゾコーバ®）」が、遂に緊急承認されるなど、ワクチンや治療薬の効果が期待される中で徐々に規制も緩和され、少し賑やかな新年を迎えられたのではないのでしょうか。しかしながら、「BA5」の派生型「BQ1」や、「XBB」など、オミクロン株の新しい変異株も複数報告され、我が国においては感染者数が世界一になるほどの依然感染拡大が続いております。会員の皆様には、医療の一翼を担う職種であることを自覚した上で、引き続き十分な感染対策を行っていただきますよう、節にお願い申し上げます。

昨年7月、安倍 晋三元首相が凶弾に倒れた事件では、政治思想や老若男女を問わず、多くの国民に強い衝撃と深い悲しみをもたらしました。また、昨年2月に始まったロシアによるウクライナへの侵攻は1年近く経過しても停戦の目途は立たず、物流への影響や原油価格の高騰、「悪い円安」などによる物価高が、国民の日常生活を圧迫しております。

柔道整復業界も、令和2年の緊急事態宣言以降、3年、4年の取り扱い療養費は下げ止まらず、非常に厳しい状況が続いており、昨年10月の柔道整復師国家試験問題の漏洩事件による役員逮捕が、業界への信頼失墜に追い打

ちをかける事態となってしまいました。「柔整ってヤバいの？ 知らんけど…」と、流行語で責任回避をしているわけではありません。

その一方で、ヤクルトの村上 宗隆選手がシーズン最終戦の最終打席で劇的56号ホームランを放って令和初の三冠王に輝き、「村神様」は流行語大賞を受賞、ワールドカップでは強豪ドイツとスペインに勝利して決勝リーグ進出を果たすという、歴史的偉業を成し遂げました。

本会の業績としては、療養費取扱いが厳しい中、3年がかりで交渉を続けてきた地域包括ケアシステムにおける柔道整復師の訪問ケア参入について、愛知県より「地域支援事業の対象者に対しては、訪問型サービスにおいて柔道整復師を活用できる」という回答を頂き、現在、県内各市町村と参入に関する具体的な交渉段階に進んでいることは、愛整の少し明るいニュースです。これも偏に、会員の先生方による地域社会への貢献の積み重ねの賜物であると感謝申し上げる次第です。

withコロナの超高齢化社会に於ける柔道整復師の生き残りを賭けた最終打席の土壇場で、柔整業界にミラクル弾を放つ「骨神様」を目指して、業界を勝利に導く所存でございます。本年も、本会の諸事業に対しまして多大なるご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



愛知県知事
大村 秀章

新春を迎えて

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、愛知県が誕生してから150周年の節目を迎え、愛知のこれまでの歩みを振り返り、県民の皆様とともに郷土への愛着や誇りを持って未来に踏み出すことができました。

そうした中で、日本が世界に誇るオリジナルコンテンツ、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園を迎えるという記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」や世界ラリー選手権などのビッグイベントを成功裏に終えるとともに、世界最高クラスのアリーナ「愛知国際アリーナ」、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の工事に着手するなど、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県がこれからも、日本の成長エンジンとして、日本の活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗り越え、イノベーション創出に向け挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知の強みである分厚い集積を誇るモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、愛知発のイノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」の2エリアが開園します。この第2期オープンに向け、万全の準備を進め、「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現を目指し、県民の皆様にご笑顔で元気にお過ごしいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2023年元旦



名古屋市長
河村 たかし

“郷土を守り、未来へつなげるマチ ナゴヤ”

年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

約3年にも及ぶコロナ禍で、市民・事業者の皆様には基本的な感染防止対策の徹底などに、医療従事者をはじめ関係の皆様には医療提供体制の確保やワクチン接種などにご協力いただき御礼申し上げます。本市においては、重症化リスクの高い方への丁寧なフォロー、希望される方へのワクチン接種体制に加えて、接種後の長期的な副反応相談窓口体制の確保など、引き続き感染症対策に取り組んでまいります。30%のプレミアム付き商品券については、今回は発行総額325億円・プレミアム額75億円と拡充して実施し、キャッシュレス決済の利用促進も図りながら、「暮らし」を支える商売を盛り立ててまいります。名古屋城天守閣の木造復元については、解体と復元を一体とした整備基本計画を取りまとめ、着実に進めてまいります。

昨年、本市においては、ハザードマップと防災情報などを掲載した防災ガイドブックを一つにまとめた「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を作成し、本年3月には全戸配布を予定しています。豪雨が全国各地で発生している中「堤防の中に水を一滴も入れない防災」を目指し、そして全ての災害から市民の皆様生命・財産を守るために、不断の防災対策に取り組んでまいります。

そしてナゴヤの将来のため、受験や成績にとらわれることなく、子どもたちが本当に好きなことを見つけ、夢と希望を抱きながら成長していく、それを大人たちが応援する社会を実現するエデュケーションを推進してまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

令和5年元旦



愛知労働局長
代田 雅彦

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

令和5年の年頭に当たり、愛知労働局の行政運営に対する公益社団法人愛知県柔道整復師会の皆様の日頃からの御理解と御協力に改めて御礼申し上げますとともに、今年一年の所信の一端を述べさせていただきます。

本県では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、有効求人倍率（季節調整値）は、令和2年9月に1.02倍まで低下しましたが、令和3年1月以降、基幹産業である自動車関連産業を中心に持ち直しの動きがあり、雇用情勢は改善の基調を維持しています。

一方で、様々な産業において、半導体を始めとする部品の供給制約、原材料価格の高騰等が様々な面で影響を及ぼし得ることから、これらの状況について、引き続き注意する必要があると認識しています。

こうしたことを踏まえつつ、当局といたしましては、働き方改革関連法の遵守・定着に向けて、時間外労働の上限規制、年5日の年次有給休暇の確実な取得義務、労働時間の状況把握義務及び同一労働同一賃金等の遵守状況を確認し、関係法令の丁寧な説明に努め、改善に資する情報を提供する等、必要な指導と支援を引き続き行ってまいります。

労災補償業務については、効率的な調査を行い、法令、認定基準等に基づいた事務処理を徹底することにより、被災労働者に対する迅速かつ公正な労災保険給付に努めてまいります。

また、石綿による中皮腫や肺がんについて、引き続き労災指定医療機関に対し、認定基準等の周知・広報を行い、労災請求勧奨を実施してまいります。

本年も多様な課題に適切に対応していく所存ですので、皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとってより良い年になるよう衷心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。



公益社団法人愛知県医師会 会長
柵木 充明

明けましておめでとうございます。

もう4年目に入る新型コロナウイルス感染症は、第8波となり、相も変わらずコロナ対策に追われています。

この稿を書いている11月下旬での最大の関心事は、第8波のピークがどの程度となり、いつ収束に向かうかです。特に、2年間なりを潜めていたインフルエンザが昨夏に南半球のオーストラリアで流行したこともあり、入国制限が事実上解除された今となっては、国内で3年ぶりの流行は避けられないとの見方もあります。

ウイルスが活性化する冬場に新型コロナ第8波と重なれば、1日75万人の患者が出るとの推計もあります。新型コロナ第7波のピーク時、1日26万人超の新規感染者であれだけ医療が逼迫したことを考えると、この数字の衝撃がわかります。

愛知県医師会は同時流行に備え、特に医療体制が手薄になる年末年始に向けた診療・検査体制を整備し、臨時に発熱外来を行う医療機関を募集し、その情報をホームページに公開して、県民の急病に備えています。

昨年には感染症法等が改正され、都道府県はすべての医療機関と病床確保や発熱外来を行う協定を結ぶことができるようになりました。特に、公立・公的医療機関や特定機能病院、200床以上で救急医療を行う地域医療支援病院には病床の提供が義務化されました。

これまでの新型コロナ感染症の流行を受け、地域の中核医療機関の役割を法律に明記したものと思われませんが、一番肝心な感染症類型の見直しには全く触れられていません。

今年こそは感染症類型を見直し、弱毒性のオミクロン株に見合った対策に舵を切る必要性を痛感しています。

柔道整復師会の皆様方におかれましては、本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

PHOTO GALLERY

愛整広報79刊に掲載させていただきました徳川家康ゆかりの松平東照宮です。10月の中旬に写真撮影しました。

私が最初に訪れた頃に比べると参拝に訪れる人数が多くなりました。皆さんも徳川家康が産湯に使った井戸を見に行かれませんか。井戸の御神水を社務所で購入できます。玄関、トイレ等厄除けに置かれると良いですよ。

左から松平東照宮の入り口手水舎です。心身及び手、口を清めます。

右は在原信盛が掘ったと言われ、松平家は代々この井戸の水を産湯に使いました。家康が誕生した際、この水を竹筒にいれ早馬で届けたと言われています。

(鶴舞支部広報担当 山本 篤)



日整第55回東海学術大会
岐阜大会

(令和4年10月22日・23日)



第19回柔整師杯東海少年柔道大会
第12回東海少年柔道形競技会

(令和4年9月18日)